

特集

伊達市こども家庭センターがオープン

心配しなくて 大丈夫!



令和6年4月、伊達市こども家庭センター「にこにこ」がオープンしました。こども家庭センターは、お子さんがより良く健やかに育つよう子育て家庭を支える施設です。

○すべての妊産婦

○18歳までのこども

○その家族など

が利用できます。

では、センターの取り組みを見ていきましょう。



あなたに寄り添い続けます

期待と同じくらい
心配もしてしまうから

3つの機能で育児の支援

一緒に考え、見守り、寄り添う支援。キーワードは「一緒に」。

ネウボラ推進係

- 担当ネウボラ保健師が、母子健康手帳の交付、妊婦訪問、赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査などを通し、妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポートします。
- スタッフには、保健師のほか、栄養士、助産師、心理師、相談員がいますので、悩みに応じたサポートが可能です。各スタッフは携帯電話を持っているので、お気軽にご相談いただけます。

こども家庭相談係

- お子さんに関して気になることや、保護者の方の悩み、モヤモヤしていること、不安に思っていること等、こどもに関することならなんでもご相談いただけます。
- 相談員や社会福祉士がおりますので、専門的な立場から課題解決のサポートをします。
- 必要に応じて専門機関や関係機関につなぎますので、よりよい解決方法を一緒に考えていきましょう。

発達支援係

- お子さんの発達に関する相談、子育てに関する相談、就学に関する相談など、一緒に考え、発達をサポートしています。
- ことばの相談、発音・吃音指導を行っています。お子さんについての聞き取りや構音検査などを実施して、必要に応じて指導します。
- 公認心理師に、子育ての不安を相談することができます。また、専門的立場で今後の具体的な関わり方や受け止め方などについて、アドバイスを受けることもできます。



子育てに特化

- 3つの機能を1つに
- ① 保健師などが妊娠期から切れ目なく寄り添う「子育て世代包括支援センター」
 - ② より深く子育てのお悩みを共に考える「子ども家庭総合支援拠点」
- これまでも伊達市には、保健師などが妊娠期から切れ目なく寄り添う「子育て世代包括支援センター」があり、また、同センター内には、こどもの発達が気になる際の



相談窓口である、発達支援係「こどもも」も移転しました。妊娠・出産・子育ての期間、切れ目なくサポートする施設として、あなたと家族を支えます。

～知りたい！行きたい！親子が交流できるサロン～

こども家庭センターでは、親子が楽しく交流できるサロンを開催しています！「参加するまでは敷居が高いと思っていたけれど、来てみたらそんなことはなかった」「もっと早く参加すればよかった」といった声もあります。お父さんの参加も大歓迎です！

生後2カ月から6カ月までのお子さんを対象にしたサロンです。県助産師会の助産師による「ベビーマッサージ」は、赤ちゃんとのスキンシップの良い機会になっています！ほかにも手遊び、歌遊びなどをしながら親子で楽しい時間を過ごしましょう！心理師のミニ講話や、助産師による母乳相談、赤ちゃんの体重測定などもできます。



▲市HP



赤ちゃんサロン



妊娠7カ月以降の妊婦さんを対象にしたサロンです。出産、育児の情報交換をしながら、赤ちゃんを迎える準備を一緒にしませんか？

赤ちゃん用のおむつをかわいくデコレーションした「おむつケーキ作り」やマタニティフォト撮影などのお楽しみも用意しています！



▲市HP

ウェルカムbabyサロン「ばる～ん」



子育てサロン「にこにこcafe」

生後6カ月から1才の誕生月のお子さんを対象にしたサロンです。「育児をみんなで楽しもう」をコンセプトに、みんなで楽しい時間を過ごしましょう！親子でのふれあいや遊びを通して、育児の喜びや成長を共有したり、気軽に相談したりしながら、お母さんもお父さんもリフレッシュしませんか？



▲市HP



あそびのたね

「遊びが大切って聞くけど、どうやって遊んでいいのかわからない」「この年齢ってどんな遊びがいいのかな？」そんな悩みはありませんか？「あそびのたね」は、1才頃のお子さんを対象にした遊び方などを楽しく学べる教室です。本や動画でも楽しい遊びを発信中！



▲BOOK版も配布中(市HP)



▲動画で見る





あなたへのメッセージ
 こども家庭センターから、皆さんへメッセージを送ります。こども家庭センターは、「あなた」にとっての『地域の実家』です。いつでも皆さんをお待ちしています。

妊娠に気づいた人へ

妊娠・出産は人生の中で大きな出来事のひとつ。赤ちゃんが産まれるのは楽しみだけど、妊婦さんやそのご家族を取り巻く環境は人それぞれ違うので、不安や悩みも違うもの。

妊娠に気付いたら「こども家庭センター」を思い出してください。

ネウボラ保健師などが、妊娠から出産・子育てについて一緒に考えていきます。

子育て中のお父さん・お母さん・ご家族の皆さんへ

お子さんの成長に、日々の慌ただしさもふと忘れ、笑顔がこぼれますね！

「こども家庭センター」は、大切なお子さんの成長とともに喜び、将来につながる心身の健やかな成長に必要なことを、保護者様と一緒に考えさせていただきます。

そして子育ての不安や悩みは誰にでもつきもの。「こんなこと相談してもいいのかな…」と思う些細なことでも、「周りには相談がしにくいな…」と一人で抱え込んでしまうような悩みも、お気軽にご相談ください。

親子が笑顔の架け橋へ
 こどもと、何より自分自身のために、一人で抱え込むことをやめてみる。誰かに相談したら、意外と「うちもそうだよ」「こんな風に乗れよ」「こんな風に乗り越えたよ」と思いがけないアドバイスをもらえるかもしれません。こども家庭センターが、そのきっかけになれるよう、職員一丸となって応援します！

こどものみなさんへ

「伊達市のこどもたちが、笑顔で元気いっぱい、遊び、学び、成長して欲しい」

それは、お父さん・お母さん・家族・地域みんなの願いです。みなさんも、お友達とのこと・勉強のこと・家族のことなどに悩む時もあると思います。

そんな時には、ひとりで抱え込まないでほしいと思っています。だけど、どこに相談していいかわからない…。

そんな時は「こども家庭センター」にお話してみませんか？こどものみなさんの思いも大事に、一緒に考えたいと思います。

地域のみなさんへ

こどもは伊達市の宝物。大切な宝物を地域社会みんなで育てていけたらと思います。

こどもや、子育て世帯を見守る中での心配事、伊達市の子育てに関するご意見・ご要望などございましたら、「こども家庭センター」に声をお寄せください。

「伊達市で子育てしてよかった」「伊達市で生まれ育ってよかった」と感じてもらえるように… (職員一同)

連絡先 ネウボラ推進課 (伊達市こども家庭センター)
 ネウボラ推進係および発達支援係
 ☎ 024-573-5687
 こども家庭相談係
 ☎ 024-573-5682
 024-573-5676



▲菅野さん家族… (左上) 彩花さん (右上) 崇明さん (左下) 月汰くん (右下) 仁希ちゃん

お腹にいた乃生ちゃんも、無事に産まれました！崇明さんは、「初めての立ち会い出産で深く考えることができました」と話してくれました。▼



声をきく

制度や仕組みだけじゃ伝わらないから。「生の声」を聞いてみよう。

聞いてくれる人がいる安心感

～彩花さん～

県外から嫁いできた時は、友達も親戚もいなくて、右も左も分からない。頼れるのが主人だけで不安もありました。伊達市の取り組みを知ったのは、出産前から手厚くサポートしてくれる保健師さんに、「イベントこんなことあるよ」と言ってもらったのがきっかけでした。ウェルカム baby サロンを利用して、行かないと気付けないことが多くありました。知識だけでなく、友達ができたり、相談を聞いてくれる人と交流ができたりますので、家から出ることは大事だと思いました。

3人目がこれから生まれる予定です。今までは大人2人、子ども2人で目が届いていたことも、どうなるか不安があります。ですが、自然の多い伊達市で伸び伸び成長できるように、サポートを受けながら子育てできたらと思っています。

気持ちを寄せると見えてくる

～崇明さん～

子育ては家族で行っていくもの。イベントに参加すると、お父さん同士お話することができて、安心感につながります。ぜひ恥ずかしがらずに、お父さんもどんどんイベントに参加して欲しいですね。

ウェルカム baby サロンには妊婦体験をやりたくて行ったんですよ。重りを背負ってみて、自分はその場だけでしたけど、妊婦さんはこれを24時間抱えてると考えたら大変だ感じて。妊婦さんに気持ちを寄せていくと、自分がどんなサポートをするべきか見えてきましたね。

こどもに関することは何でもご相談ください

伊達市こども家庭センター長 菊田 純一

4月にオープンした「伊達市こども家庭センター」はすべての妊産婦さん、こどもたち、子育て家庭を支える総合相談窓口です。

子育てに悩みはつきもの。ネットなどで調べてかえって不安が膨らんだ経験はありませんか？子育てを取り巻く環境は多様化していて、悩みも解決方法も人それぞれです。それだからこそ私たちは皆さんとお会いし、お話しすることを大切にしています。お話しを通して心配事が少しでも解消でき「子育ては楽しい」と思ってもらえるよう保健師や相談員、心理師などのさまざまな専門職を配置しきめ細かくお手伝いします。

子育てに関することは、こども家庭センターへお気軽にお声掛けください。

